

平成30年度障害者差別解消に関する周知啓発について

1 事業者や市民を対象とした啓発

(1) パンフレットの作成・配布

平成28年度に作成した「障害を理由とする差別の解消に関するパンフレット」を増刷（15,000部）し、関係機関やイベント等で配布することで、障害者差別解消に関する周知啓発を行う。



平成30年度は既に不動産会社に配布。今後は、タクシー事業者、小学校・中学校・高等学校や司法書士や薬局等へ配布予定。

	配布先	配布部数	配布年度
一般市民向け	各区役所支援課	650部	平成28・29年度
	市内公共施設（公民館、図書館等）	5,300部	平成29年度
	各種イベント等	4,500部	平成28・29・30年度
相談を受ける機関等	各区障害者生活支援センター	900部	平成28・29年度
	民生委員児童委員	1,450部	平成29年度
	弁護士	550部	平成29年度
	司法書士	今後配布予定	平成30年度
	人権擁護委員	今後配布予定	平成30年度
	障害者相談員等	今後配布予定	平成30年度
教育機関	小学校・中学校・高等学校	今後配布予定	平成30年度
企業等	市内事業者・商工会議所	3,000部	平成28年度
	ハローワーク	700部	平成28年度
	飲食店等	今後配布予定	平成30年度
	不動産会社	1,750部	平成30年度
公共交通機関	鉄道事業者（一部）	50部	平成29年度
	バス事業者	今後配布予定	平成30年度
	タクシー事業者	1,500部	平成30年度
医療機関等	病院	1,500部	平成28年度
	歯科医療機関	1,000部	平成29年度
	薬局	今後配布予定	平成30年度
福祉関係機関	障害者福祉サービス事業所	今後配布予定	平成30年度

(2) イベントにおける周知

①さいたまスポーツフェスティバル

オリンピック競技やパラリンピック競技を含むアトラクションを体験できる、スポーツフェスティバルにおいて、啓発活動を実施。

日程	平成30年5月12日(土)、13日(日)
会場	さいたまスーパーアリーナ コミュニティアリーナ
参加者	2日間合計約23,500人
内容	障害者差別解消の啓発ブースにおける周知を行ったほか、啓発物と「障害を理由とする差別の解消に関するパンフレット」を1,000部配布。



②大宮アルディージャ手話応援

ノーマライゼーションの普及を目的として、障害のある人もない人も一緒に大宮アルディージャを手話で応援する大宮アルディージャ手話応援において、啓発活動を実施。

日程	平成30年6月2日(土)
会場	NACK5スタジアム大宮
参加者	約1,600人
内容	障害者差別解消の啓発ブースにおける周知を行ったほか、啓発物と「障害を理由とする差別の解消に関するパンフレット」を500部配布。試合前の市長挨拶においても、ノーマライゼーション条例の周知を実施。



③障害者週間「市民のつどい」

障害者への理解と関心を深めていただくとともに、障害者の社会参加の促進を図ることを目的に開催している、障害者週間「市民のつどい」において、啓発活動を実施予定。

日程	平成30年12月頃実施予定
会場	浦和コミュニティセンター
内容	スタンプラリーやパネルの掲示等を通じた周知を実施予定。

【昨年の様子】



④さいたま市ノーマライゼーションカップ

誰もが共に暮らすための障害者の権利の擁護等に関する条例(ノーマライゼーション条例)とその理念を市民に周知啓発するために平成24年度から実施しているイベント。7回目となる平成30年度は、女子ブラインドサッカーの国際親善試合を予定。

日程	平成31年2月頃実施予定
会場	サイデン化学アリーナ (記念総合体育館)
内容	障害者差別解消の啓発ブースにおける周知のほか、ブラインドサッカー等の体験イベント等を実施予定。

【昨年の様子】



(3) 研修等の実施

①福祉サービス事業所を対象とした研修の実施

市内障害福祉サービス事業所を対象とした、集団指導の中で、障害者差別に関する研修を実施予定。

日程	平成30年7月10日(火)、13日(金)、17日(火)
会場	武蔵浦和コミュニティセンター 多目的ホール
受講者	市内障害福祉サービス事業所(577事業所)
内容	障害者差別について(講師:障害政策課担当職員)

2 市職員を対象とした啓発

(1) 「障害を理由とする差別の解消に関する職員研修」の実施

さいたま市職員として、障害を理由とする差別の解消を推進するために必要な知識を習得することを目的に研修を実施予定。今年度は、これまで実施してきた講義型の研修に加え、都市経営戦略部と連携し、車椅子の体験等を行う体験型の研修を実施予定。

日 程	平成30年10月実施予定（講義型）
会 場	市民会館うらわ（講義型）
受講者	さいたま市役所全庁を対象（約400名）
内 容	（講義型） ①障害者に対する配慮について（講師：障害当事者） ②障害者差別解消法について（職員対応要領等を活用）

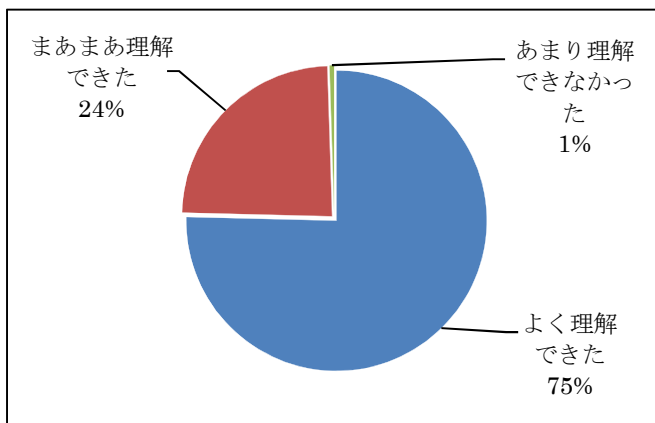
【参考】平成29年度職員研修実施結果

○平成29年10月18日実施（午前の部、午後の部）

区分	対象部署数	欠席者数	受講者数	アンケート回答者
午前の部	231人	38人	193人	193人
午後の部	225人	26人	199人	199人
合計	456人	64人	392人	392人

① 障害者に対する配慮について

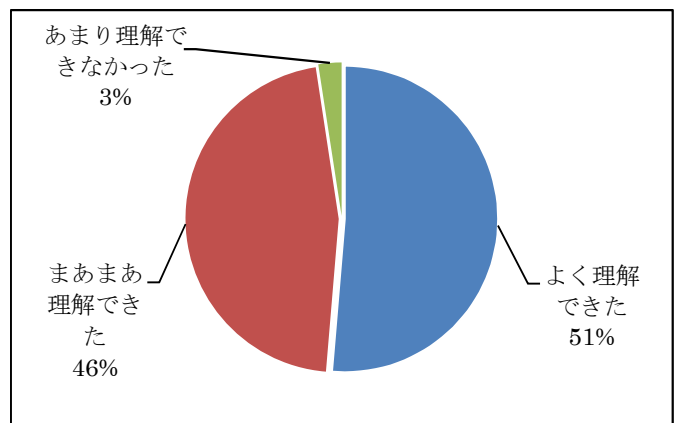
（講師：障害者政策委員会 委員 荒井 優子氏）



※理解できなかったは0%

② 障害者差別解消法について

（講師：立教大学 教授 平野 方紹氏）



※理解できなかったは0%

(2) 「ノーマライゼーション推進市職員研修」の実施

市の幹部職員が、障害についての理解を深め、ノーマライゼーション社会の実現に向けて取り組む姿勢を市民に示すことを目的として研修を実施予定。

日 程	平成30年11月頃実施予定
会 場	未定
受講者	市長、副市長、各局長等幹部職員
内 容	体験型の研修（近年はブラインドサッカーやボッチャなどパラリンピック競技の体験を実施）